

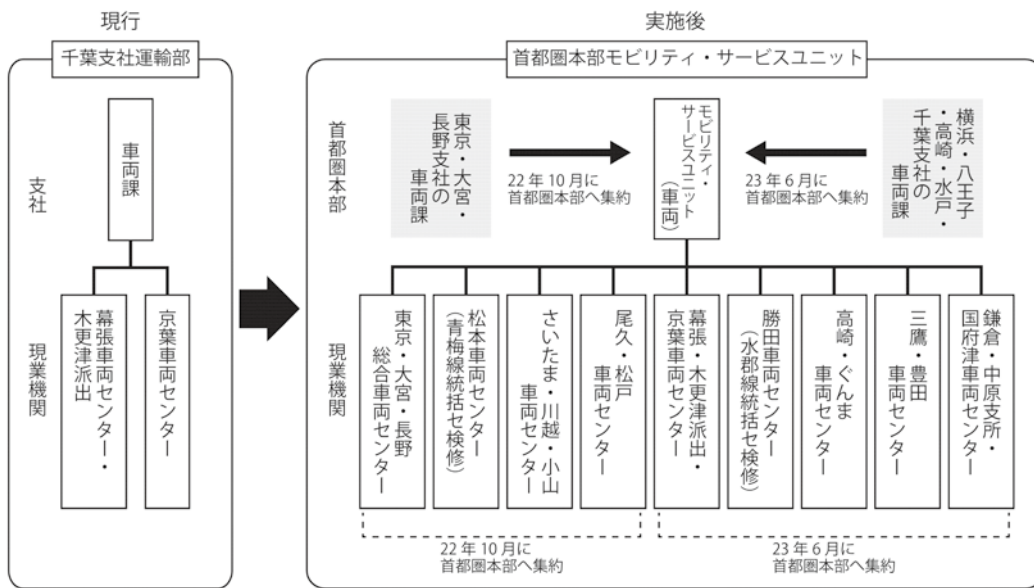
JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

6~7月 組織再編 **すべてが隠されている**

車両センター-首都圏本部化で転籍・分社化が加速

JR千葉支社は、6月から幕張車両センター、京葉車両センター、木更津派出所を首都圏本部所属とする提案がされています（左図参照）。しかし、実施まで1月前でも、現場では何も具体的な説明が行われていません。労働者がどこに所属し、どう扱われ、何がかわるのか。構

◇車両センター等の再編について



内関係業務の委託契約はどうなるのか。すべて隠されたままです。動労千葉との団体交渉でも「検討中」「聞いていない」と繰り返すだけです。今後、さらに業務集約や体制の見直しを進めると会社は宣言しています。各支社ごとに作られている車両整備会社の再編も不可避です。これまで、検修構内業務の外注化は各支社ごとにグループ会社と契約されてきました。しかし車両センターが首都圏本部に集約されれば、それぞれバラバラの契約、労働条件を集約・統一する方向に行かざるを得ません。検修部門では、JR東日本テクノロジ（JRTM）が戦略企業として位置づけられています。グループ会社の再編で、CTSで働く労働者にも、転籍や孫請化が狙われているのです。

分社化・転籍を許さない

これは検修・構内業務のさらなる外注化、分社化・転籍の拡大に行きます。それは業務ごと労働者をすべてグループ会社に移し、労働者の権利を奪う攻撃です。労働者の権利を根本から奪い、現場の鉄道業務をないがしろにして抜本的に解体する攻撃です。絶対に認めるわけにはいきません。車両センターの首都圏本部化、グループ会社大再編、分社化・転籍攻撃に職場からの反対の声を上げよう。